

対象年度		令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		土地改良事業						予算事業名		土地改良事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律 等				
			06	01	06	11	経常経費						
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分	主要事業					
	特色ある農業の振興と活性化						担当課係等	農政課					
	農村環境の保全							農政係					
事業期間		継続 (平成19年度～ 年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
農業用施設等が適切に機能するように、地域組織等が行う多面的機能を支える活動や維持管理、改修工事に対して、費用の負担軽減を図る。							西仁連側に設置されている堰は、大正時代から昭和初期の築造であり老朽化が進んでいることや、昨今の異常気象(集中豪雨)等により、護岸部が崩壊し堤防決壊のおそれがあるため、未改修の5箇所(の堰について、基本的には下流の堰から、順次改修を行うことにした。						
西仁連川の堰の改修を行うことにより、農業用水を安定的に供給する													
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
土地改良区が実施する農業用施設の維持管理や改修事業に対し、市土地改良補助金交付要項に基づき、補助金を交付する。							土地改良区等の用排水施設管理者						
西仁連川は茨城県と栃木県の県境を流れ、複数の土地改良区の受益地もあることから、茨城県、栃木県、小山市や地元土地改良区と、改修箇所や時期、負担・管理方法等を協議し、改修堰ごとに事業化している。また、当該事業については、小山市との連携事業として実施し、交互に事務局を務めており、二国堰の改修については結城市が事務局となっている。							改修する堰下流の受益者(江川土地改良区(の管理部分) 農業者等で構成される活動組織						
地域組織が行う除草等の農地維持活動、水路の補修や景観形成等の資源向上活動に対して、補助金を交付する。							【事業をとりまく環境の変化】						
							農業用施設の経年劣化や農村地域の高齢化により、維持管理方法等の見直しや計画的な取組みが必要となってきた。これまでに国の災害対策事業を活用し下流の二つの堰(武井堰・田間堰)の改修が完了しており、未改修の堰は、二国堰、舞鶴堰、大成堰の3箇所となっている。しかしながら、近年は当該事業の採択要件が厳しくなっており、別の補助事業の導入も検討しなければならない。						
【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】					
(負担金)山川沼排水機場維持管理負担金 (補助金)多面的機能支払交付金、県単土地改良補助金、市単土地改良補助金、維持管理適正化事業補助金計画概要書作成(連合会に確認)				(負担金)山川沼排水機場維持管理負担金 (補助金)多面的機能支払交付金、県単土地改良補助金、市単土地改良補助金、維持管理適正化事業補助金事業採択のための県に対するヒアリング資料の作成(連合会に確認)				(負担金)山川沼排水機場維持管理負担金 (補助金)多面的機能支払交付金、県単土地改良補助金、市単土地改良補助金、維持管理適正化事業補助金土質調査・全体設計(連合会に確認)					
■事業費													
				R02年度		R03年度							
財源内訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	36,768	37,071						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	2,838						
	一		般	財	源	14,882	19,919						
歳入計 (千円)				51,650		59,828							
歳出内訳	節 (番号 + 名称)			金額 (千円)		金額 (千円)							
	12	委託料		0		5,500							
	15	原材料費		1,727		943							
	18	負担金補助及び交付金		49,923		53,385							
歳出計 (千円) (A)				51,650		59,828							
伸び率 (%)						15.83							
備考	総合計画85ページ 予算書122、123ページ												

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	多面的機能支払交付金 施設の長寿命化のために活動する組織	組織数	目標	2.00	3.00	3.00
			実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	(多面的機能支払) 認定面積	h a	目標	824.00	824.00	824.00
			実績	823.90	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	揚水機場等の農業用施設の改修には多額の費用を要するため、国や県も補助金を支給しており、安定した農業経営を支援するためにも、市が費用の一部を補助することは必要である。また、農村地域の高齢化が進む中、地域の共同活動への支援は必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	施設の維持管理や改修工事は、管理する各団体が行っている。地域組織が主体的に計画し、実践している。
	手段の妥当性	A 妥当である	市多面的機能支払交付金交付要項や市土地改良事業補助金交付要項、改良区との協定に基づき、申請から交付まで行っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	管理団体はあらかじめ事業計画を立てて申請するため、補助金額等の把握が比較的容易である。また、多面的機能支払交付金においては、不用額がある場合は返還する仕組みである。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	改修工事においては、管理団体も一定割合の事業費を負担している。また、多面的機能支払交付金においては、活動の参加者へ日当が支払われる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	適切な維持管理や改修工事を行うことにより、農業用施設の機能が向上し、農業経営の安定化が図られている。また、活動組織が主体的に計画し実践することで、地域コミュニティの形成が促進している。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	管理団体が計画的に改修工事を行うことで、農業用施設の機能が向上している。また、多面的機能支払い交付金において、活動区域や認定面積が順調に増加している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
土地改良事業等に伴い設置された農業用施設は老朽化が進み、改修工事が必要な施設が増加している。多面的機能支払交付金は、活動組織の主体的な農地維持活動や資源向上活動を有効的に支援できている。しかし、農業用施設の経年劣化、高齢化や非農家の不参加が懸念されるため、長期的な視野をもって活動することが不可欠である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
円滑に施設の改修事業を実施できるよう、各団体と事業の実施計画について、調整を図っていく。活動組織の事務負担を軽減させ、希望する活動に対して柔軟に対応できるよう、運営に寄り添った支援が必要である。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 多面的機能支払い交付金について、今後も各組織に対し交付金の適切な活用を促すと共に、地域資源の適切な保全管理を促進していく。 各団体が実施する補助事業が円滑に実施できるよう、調整を図っていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	